

各 種 事 業 の 概 要

かわごえ異業種体験研修

幅広い教員の資質が求められている今日、教員以外の職を直接体験することにより、再度教育職を見直し、多面的・柔軟的な教育指導ができる教員の育成を目指す。

- (1) 夏季休業中の5日間、企業での体験研修を行う。
- (2) 各年度の研修参加人数は9～10人とする。
- (3) 平成15年度より始まり、平成20年度までに市立学校全体から参加している。平成26年度に2巡目が終わる。

オールマイティーチャー配置事業

平成24年度までの「少人数学級のための臨時講師配置事業」に代わる新規事業である。

学校における課題に応じて教員を配置し、生徒指導体制の充実や学力向上に向け、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進する。平成25年度は、中学校10校に11人を配置した。

地域人材活用事業

川越市立小・中・特別支援学校が特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開できるように、地域の方々と連携し、児童生徒の自主的・主体的な取組の一層の充実を図っている。

平成24年度の実施状況

- (1) 実施回数……205回
- (2) ご協力いただいた地域の方々……延べ594人
- (3) 事業の一例……読み聞かせ・農業体験指導・和楽器演奏・お囃子指導・運動部活動指導
吹奏楽指導・地域の学習 等

日本語指導ボランティア派遣事業

小・中学校における日本語指導が必要な外国人児童生徒を対象に、日本語指導ボランティアを派遣することにより、日本語の能力を向上させ、学習への理解度を深め、学校生活により順応させることを図っている。

平成24年度の実施状況

- (1) 市内小中学校14校に在籍する児童生徒28人にボランティア12人を派遣した。
- (2) 派遣回数は延べ597回であった。

川越市小・中学校児童生徒健全育成事業「スクールランチ作戦事業」

学級がうまく機能しない状況や非行・問題行動、不登校児童生徒の増加など、生徒指導上の諸課題への対応と児童生徒一人ひとりに細やかな指導・支援を行うために、市内小・中学校に生徒指導推進員（スクールランチ）を配置し、学校運営の補助を行い、児童生徒一人ひとりに対し適切な援助を行うものである。

スクールランチは、校長の指揮監督の下に、概ね以下の活動を行う。

- (1) 児童生徒への支援、教師の補助
- (2) 学校運営上の支援
- (3) その他校長が必要と認める教育活動等の支援

川越市中学生社会体験事業

地域の中で社会体験活動や多くの人々との触れ合いを通して、みずみずしい感性や社会性、自立心を中学生に養うとともに、勤労観や働く人としての基礎的・基本的な資質や能力を育成し、生徒一人ひとりが自分の生き方を見つけ、たくましく豊かに生きる力をはぐくむことをねらいとする。

- (1) 実施対象……原則として、中学校第1学年または第2学年の生徒
- (2) 実施場所……学区内の事業所を最優先する。
- (3) 実施期間……各学校が設定した2～3日間

トップアスリートふれあい事業
近隣大学のスポーツ分野で活躍する教員・監督・コーチや学生を各市立小学校に招き、一緒に体を動かすことを通して、運動の楽しさを児童が実感するとともに、日常生活の中で主体的に運動・スポーツに親しむ態度や習慣を育成する。 (1) 体育の授業やクラブ活動における指導及びふれあい活動 (2) 全校の朝マラソンや持久走大会に向けての指導及びふれあい活動
科学わくわくラーニングプログラム～①小学生科学体験事業
各市立小学校6年生の児童を対象に、講演会、実験・実習、施設見学等の体験活動を実施し、科学への興味・関心を醸成する。(夏季休業中に実施) (1) オリエンテーション、大学関係者等による講演会 (2) 小・中学校理科教員の指導による各種の実験・実習 (3) 科学施設見学及び体験学習
科学わくわくラーニングプログラム～②理科実験助手派遣事業
理科実験助手を配置し、体験的な学習及び個別指導などを充実させ、児童の実験・実習の技能の向上、理科に対する興味・関心、知的好奇心や探究心を高める。(小学校9校) (1) 理科の実験・実習の準備や補助 (2) 理科室・理科準備室の整備等
科学わくわくラーニングプログラム～③小・中・大学連携理科ふれあい事業
理科の授業等に大学理系学部教員・大学院生・大学生を派遣し、最新の方法で実験や観察を行い、児童生徒の興味・関心、意欲を醸成する。(3大学と連携 各市立小・中学校長からの申請に基づき、必要に応じて配置) (1) 授業内容に応じた実験・観察、発展的な実験・観察 (2) 特別活動、総合的な学習の時間等における、児童生徒の興味・関心に応じた実験・観察
川越市中学生学力調査
義務教育の学習内容の定着状況を把握し、教育の成果を検証する川越市独自の調査とするとともに、進路指導の充実に資する。また、各学校及び教育委員会が教育指導上の課題を把握し、指導方法の工夫改善を図る資料とする。 (1) 調査対象・・・川越市立中学校全22校の第3学年生徒全員 (2) 調査対象教科・・・国語・数学・社会・理科・英語 (3) 調査実施予定日・・・第1回：平成25年9月4日／第2回：平成25年11月6日
学校図書館図書整理員配置
学校図書館教育の充実を図るために、臨時事務職員（図書整理員）を配置する。図書整理員は、校長の指導の下に、概ね以下の活動を行う。 (1) 学校図書館図書の受け入れ・廃棄・配架・貸し出し・返却等の事務 (2) 学校図書館の美化・整理事務 (3) 児童生徒の読書意欲の喚起や資料提供 (4) 児童生徒や教職員への資料提供
ネットパトロール事業
市内の全市立中・高等学校を対象に、生徒をネット上のいじめ等から守るために、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視をし、適切に対処する。

学 校 保 健

平成25年度学校保健関係行事

○ 児童生徒定期健康診断	(4月～6月)
○ 児童生徒心臓検診	(4月～6月)
○ 教職員健康診断	(4月～8月)
○ 保健主事研修会・養護教諭研修会	(4月～3月)
○ 学校飲料水検査	(5月)
○ 普通救命講習会	(5月)
○ B型肝炎予防接種(養護教諭)	(5月～3月)
○ 学校環境衛生一斉検査	(前期6月～10月、後期1月～3月)
○ 学校プール水質検査	(6月)
○ 児童生徒脊柱側弯検査	(6月)
○ 川越市学校保健会総会及び講演会	(7月)
○ 小児生活習慣病予防検診	(7月～9月)
○ 現地視察研修会(養護教諭)	(8月)
○ 教室等の空気検査	(8月)
○ 学校環境衛生検査器具取扱い講習会	(8月)
○ 応急手当普及員講習会	(8月)
○ 学校保健広報「わかあゆ」発行	(9月・3月)
○ 学校歯科保健優良校地区審査会	(9月)
○ 砂場の細菌検査	(10月)
○ 就学時健康診断	(10月～11月)
○ 歯科保健指導	(10月～12月)
○ 歯科保健指導者研修会	(11月)
○ 埼玉県学校健康教育推進大会	(1月)
○ 学校保健会理事会	(3月)

平成24年度日本スポーツ振興センター災害共済給付状況 (医療費)

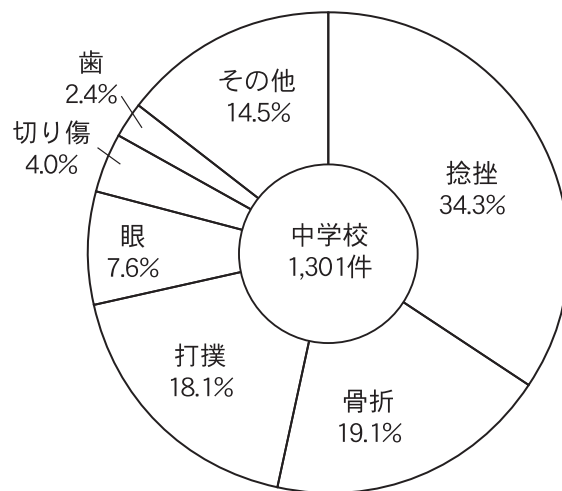
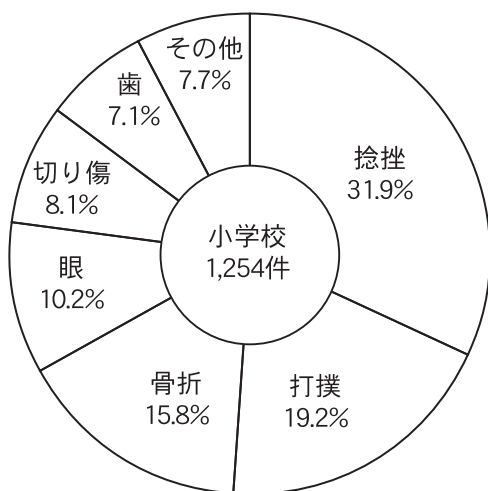
(単位:円)

月別	小 学 校		中 学 校		特別支援学校・市立高校		件数計	金額計
	件 数	給付額	件 数	給付額	件 数	給付額		
4	221	1,284,715	226	1,288,362	38	492,723	485	3,065,800
5	182	963,412	238	1,763,053	16	124,340	436	2,850,805
6	134	819,191	161	920,394	18	102,864	313	1,842,449
7	144	617,510	217	1,203,736	29	272,543	390	2,093,789
8	196	1,284,411	183	1,251,771	9	45,192	388	2,581,374
9	231	1,139,284	187	1,159,600	21	280,297	439	2,579,181
10	80	384,010	128	1,023,459	8	37,240	216	1,444,709
11	161	849,798	218	1,499,019	13	70,856	392	2,419,673
12	147	772,586	209	1,426,372	38	182,562	394	2,381,520
1	139	716,319	249	1,825,965	23	382,236	411	2,924,520
2	198	1,487,931	193	879,919	22	132,368	413	2,500,218
3	126	779,990	170	917,565	11	50,930	307	1,748,485
計	1,959	11,099,157	2,379	15,159,215	246	2,174,151	4,584	28,432,523

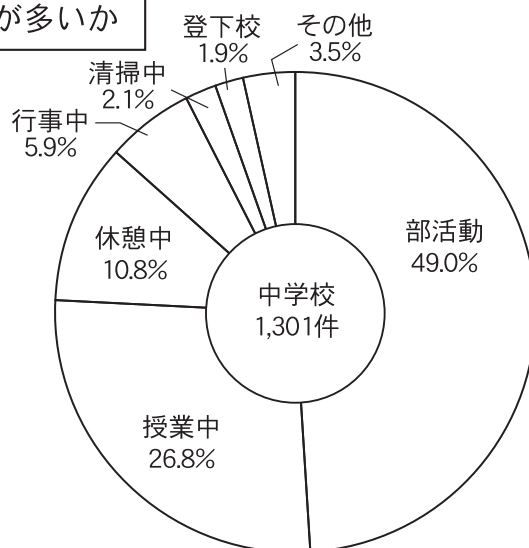
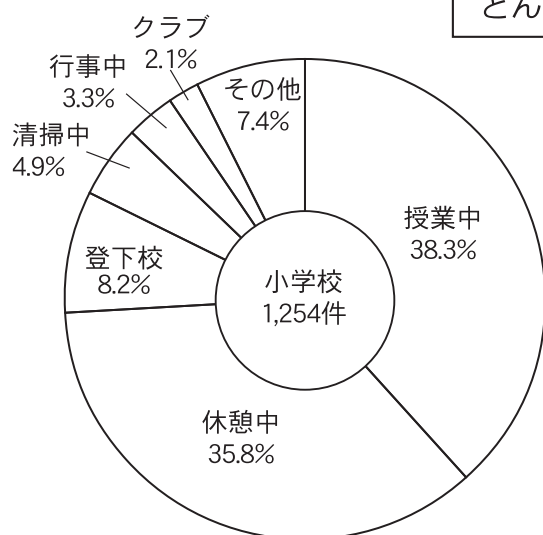
※平成20年度給付総計(延べ人数) 4,658人 (給付額) 28,641,277円
 平成21年度給付総計(延べ人数) 4,150人 (給付額) 25,708,533円
 平成22年度給付総計(延べ人数) 4,300人 (給付額) 25,308,423円
 平成23年度給付総計(延べ人数) 4,263人 (給付額) 25,101,195円

平成24年度 事故発生件数（日本スポーツ振興センターにかかわる事故による）

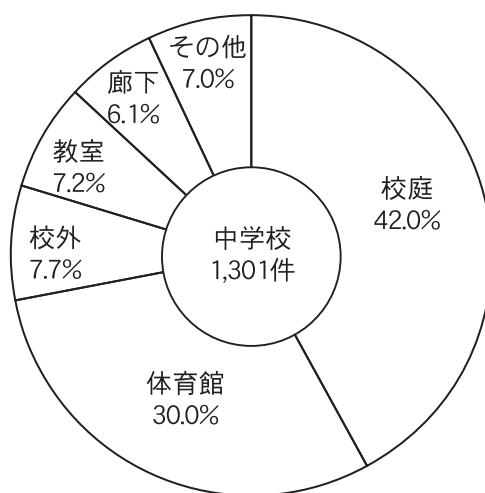
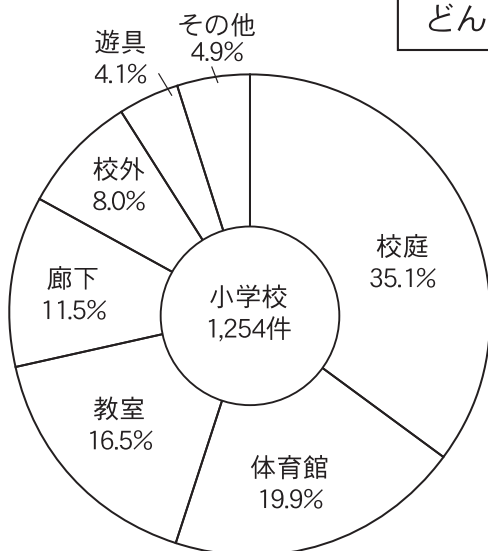
どんな負傷が多いか



どんな場合が多いか



どんな場所が多いか



児童生徒の体位

(平成24年度)

項目			身 長 (cm)				体 重 (kg)				座 高 (cm)				
			市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	
性別	市 県 国 別 学 校 学 年 別														
男	小 学 校	1	116.3	4.9	116.9	116.5	21.3	3.2	21.4	21.3	64.8	3.1	64.9	64.8	
		2	122.2	5.3	122.5	122.4	23.9	4.0	24.1	24.0	67.7	3.1	67.5	67.6	
		3	128.1	5.2	128.6	128.2	27.2	4.9	27.5	27.1	70.5	3.1	70.5	70.3	
		4	133.3	5.7	133.5	133.6	30.2	5.9	30.3	30.5	72.6	3.2	72.4	72.6	
		5	138.3	5.9	138.4	138.9	33.5	6.9	33.6	34.0	74.7	3.2	74.6	74.9	
		6	144.8	7.1	144.1	145.0	37.9	8.1	36.9	38.2	77.6	3.8	76.8	77.5	
	中 学 校	1	151.7	8.2	152.4	152.4	43.4	9.5	44.3	44.0	80.8	4.5	81.1	81.3	
		2	158.9	8.1	159.6	159.5	48.1	9.8	49.3	49.0	84.7	4.8	84.7	84.9	
		3	165.2	6.6	164.7	165.1	54.0	9.6	53.6	54.2	88.2	4.0	87.9	88.2	
子 校	高 校	1	168.7	—	168.3	168.4	58.4	—	58.6	59.2	90.8	—	90.1	90.3	
		2	171.1	—	169.7	169.8	61.6	—	61.2	61.1	91.9	—	91.1	91.3	
		3	171.8	—	170.5	170.7	66.0	—	62.6	62.9	92.3	—	91.8	91.9	
	特 別 支 援	1	165.6	—	—	—	58.6	—	—	—	89.2	—	—	—	
		2	169.6	—	—	—	64.0	—	—	—	91.8	—	—	—	
		3	167.3	—	—	—	64.3	—	—	—	89.9	—	—	—	
女	小 学 校	1	115.5	4.9	115.6	115.6	21.0	3.2	20.7	20.9	64.5	3.0	64.2	64.4	
		2	121.4	5.2	122.0	121.6	23.4	3.7	23.7	23.5	67.2	2.9	67.2	67.3	
		3	127.3	5.6	127.7	127.4	26.7	4.9	26.4	26.3	70.1	3.2	70.0	69.9	
		4	133.4	6.0	133.3	133.4	29.9	5.8	29.7	29.9	72.8	3.3	72.5	72.6	
		5	140.0	6.7	140.7	140.1	33.9	6.9	34.8	34.0	75.9	3.8	76.1	75.8	
		6	146.5	6.8	146.6	146.7	38.9	7.8	38.7	38.9	79.4	4.0	79.0	79.2	
	中 学 校	1	151.9	6.0	151.6	151.9	43.5	7.5	43.6	43.7	82.3	3.6	82.0	82.2	
		2	154.8	5.7	155.5	155.0	47.2	7.8	47.9	47.4	84.0	3.4	84.1	83.9	
		3	156.5	5.5	156.4	156.5	50.0	7.8	50.2	49.9	85.1	3.4	84.8	84.9	
	子 校	高 校	1	157.9	—	157.5	157.2	51.6	—	52.0	51.6	85.7	—	85.5	85.4
			2	158.8	—	157.9	157.6	52.7	—	52.7	52.5	86.2	—	85.5	85.7
			3	158.6	—	158.2	158.0	53.3	—	52.6	52.9	86.0	—	85.7	85.8
		特 別 支 援	1	155.3	—	—	—	50.1	—	—	—	85.1	—	—	—
			2	151.3	—	—	—	46.3	—	—	—	85.0	—	—	—
			3	157.0	—	—	—	51.0	—	—	—	85.5	—	—	—

※県・全国の平均値は、平成24年度学校保健統計調査報告書（埼玉県総務部統計課発行）による。

※調査対象：県・全国は全国児童生徒数の約1.9%を抽出。市は全児童生徒

児童生徒の「新体力テスト」 平均値

(平成24年度)

項 目 名	学 校		小 学 校						中 学 校		
	学 年		1	2	3	4	5	6	1	2	3
50m走 (秒)	男	県	11.53	10.67	10.10	9.66	9.27	8.87	8.54	7.92	7.50
	子	川越市	11.55	10.78	10.15	9.75	9.27	8.82	8.48	7.82	7.36
	女	県	11.81	10.95	10.40	9.96	9.52	9.13	8.97	8.66	8.61
	子	川越市	11.94	11.10	10.50	9.99	9.57	9.13	8.97	8.59	8.50
立幅跳び (cm)	男	県	116.32	128.39	138.96	147.57	156.09	166.54	181.11	199.32	214.74
	子	川越市	114.87	124.96	135.63	143.55	151.03	162.95	178.50	196.86	211.40
	女	県	109.07	121.04	131.23	140.62	149.89	159.03	166.60	173.45	175.82
	子	川越市	107.23	118.10	126.63	137.75	144.64	154.15	163.27	169.59	174.23
ボール投げ (m)	男	県	8.37	11.52	15.13	18.81	22.35	26.32	18.52	21.97	24.75
	子	川越市	8.13	11.38	15.22	18.40	22.19	26.51	19.07	21.96	24.91
	女	県	5.86	7.67	9.68	11.68	13.93	16.06	12.10	13.77	14.67
	子	川越市	5.72	7.64	9.52	11.43	13.41	15.53	11.95	13.72	14.65
握 力 (kg)	男	県	9.33	10.99	12.78	14.55	16.59	19.40	24.19	30.24	35.93
	子	川越市	9.18	10.88	12.39	14.39	16.15	19.32	23.47	29.32	35.20
	女	県	8.80	10.43	12.10	13.92	16.30	19.28	22.31	24.98	26.37
	子	川越市	8.68	10.37	11.76	13.68	16.02	19.24	21.75	24.33	25.71
上体起こし (回)	男	県	12.03	15.00	17.27	19.22	21.13	23.06	26.12	30.21	32.64
	子	川越市	11.75	14.73	17.10	19.31	21.50	23.15	26.29	30.77	33.10
	女	県	11.48	14.37	16.50	18.19	19.95	21.36	23.09	26.27	27.28
	子	川越市	11.11	14.26	15.70	17.89	19.68	20.74	22.47	26.71	27.62
長座体前屈 (cm)	男	県	26.03	27.86	29.79	31.59	33.71	35.73	41.82	46.55	50.62
	子	川越市	25.49	27.06	30.18	30.24	33.54	34.86	41.54	46.32	49.96
	女	県	28.50	31.05	33.17	35.47	38.38	40.87	45.54	48.21	50.27
	子	川越市	27.70	30.94	33.21	34.99	38.02	41.05	45.41	47.99	50.10
反復横とび (回)	男	県	28.09	31.98	36.06	40.25	44.07	47.26	49.21	52.83	55.83
	子	川越市	27.58	31.02	34.87	38.66	43.98	47.07	48.20	51.97	54.99
	女	県	26.69	30.42	34.01	38.08	41.85	44.53	45.21	46.92	47.47
	子	川越市	25.98	29.68	33.12	36.71	41.04	43.93	43.83	45.93	47.54
20mシャトルラン (回)	男	県	20.22	29.48	39.53	48.60	56.82	65.08	—	—	—
	子	川越市	18.56	27.59	38.39	46.36	56.35	64.96	—	—	—
	女	県	17.21	23.41	30.20	37.65	45.67	52.21	—	—	—
	子	川越市	15.85	22.40	27.83	36.37	44.68	50.59	—	—	—
持久走 (分秒)	男	県	—	—	—	—	—	—	6' 50"40	6' 17"69	6' 06"57
	子	川	越一	市一	—	—	—	—	6' 50"65	6' 15"61	6' 02"90
	女	県	—	—	—	—	—	—	4' 49"01	4' 38"80	4' 42"06
	子	川	越一	市一	—	—	—	—	4' 52"80	4' 36"43	4' 40"24

※小学校は、20mシャトルラン。中学校は、持久走。
 ※持久走の距離は、男子が1,500m、女子が1,000m。

学 校 給 食

《菅間学校給食センター》

- ・住 所……川越市菅間18－9
- ・設 立……平成17年8月
- ・給食規模……12,000食
- ・対象学校……小学校20校
- ・敷地面積……9,908.41㎡
- ・建物面積……5,715.39㎡



《今成学校給食センター》

- ・住 所……川越市今成2－35－5
- ・設 立……昭和44年（平成5年改築）
- ・給食規模……12,000食
- ・対象学校……中学校22校・特別支援学校1校
- ・敷地面積……5,492.74㎡
- ・建物面積……3,377.49㎡



《藤間学校給食センター》

- ・住 所……川越市藤間948－1
- ・設 立……昭和56年
- ・給食規模……8,000食
- ・対象学校……小学校6校
- ・敷地面積……4,725.91㎡
- ・建物面積……1,830.24㎡



《吉田学校給食センター》

- ・住 所……川越市吉田444
- ・設 立……昭和59年
- ・給食規模……5,600食
- ・対象学校……小学校6校
- ・敷地面積……3,754.00㎡
- ・建物面積……1,683.62㎡



平成25年度学校給食センター別給食数及び担当校一覧

(平成25.5.1現在)

センター名	給食数	小・中別	対 象 校
菅間学校給食センター	11,750食	小 学 校 20校	川越第一・川越・中央・仙波・武蔵野・大塚・泉・月越・今成・芳野・古谷・南古谷・牛子・寺尾・大東東・大東西・霞ヶ関東・上戸・広谷・山田
藤間学校給食センター	3,966食	小 学 校 6校	新宿・高階・高階南・高階北・高階西・福原
吉田学校給食センター	3,187食	小 学 校 6校	霞ヶ関・霞ヶ関南・霞ヶ関北・霞ヶ関西・川越西・名細
今成学校給食センター	9,213食	中 学 校 22校 特別支援学校 1校	川越第一・初雁・富士見・野田・城南・芳野・東・南古谷・高階・高階西・砂・寺尾・福原・大東・大東西・霞ヶ関・霞ヶ関東・霞ヶ関西・川越西・名細・鯨井・山田・特別支援学校
合 計	28,116食	55校	

学校給食の内容

1. 食育

川越市では「食育」に関して次のものを行っている。

- (1) 創意工夫を生かした楽しい食事の場を提供し、児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるため、食に関する指導の充実を図っている。
 - 市内小学校の2年生約3,000人を対象に年2回実施
- (2) 学校給食を通して望ましい食習慣、食べる物に対するありがたさ、食事ができることへの感謝の気持ちを培い、好ましい人間関係の育成に努めている。
- (3) 学校給食を通して家庭・地域との連携を図り、食に関する指導の推進に努めている。
 - 児童生徒の食生活の基本である家庭との連携を図るため、給食内容や食生活の指導等を中心とした「給食だより」や広報誌「いきいき」などを発行
 - 親子で参加する夏休み料理教室、学校給食をより理解してもらうことを目的とした学校給食センター見学会、農産物の生産現場や食品加工などの現場を見学する食の探検隊等の開催
- (4) 学校との連携を図り、学校の「食に関する指導の全体計画」に基づいた食育の推進に努めている。
 - 学校食育研究会…学校給食の振興充実を図ることを目的とし、学校における給食指導、児童生徒の栄養改善に関する調査、学校給食・運営管理に関する調査を行っている。市内小・中・特別支援学校の校長と給食主任で組織され、給食指導や管理運営についての研究会を主催している。
 - 試食会…児童生徒の保護者に学校給食への理解を深めてもらうこと、学校給食の普及・充実を図るために実施。平成24年度は95回の開催で約2,400人が参加
- (5) お米をはじめとして、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、巨峰、枝豆、とうもろこしなどの川越産農産物や旬の食材を献立に取り入れ、季節感のある魅力的な献立の充実に努めている。



学校給食センター見学会



夏休み料理教室

2. 学校給食費

区 分	月 額	年 額	徴 収数月	給食日数	1食当たり単価	備 考
小学校	4,000円	44,000円	11か月	190日	231円58銭	平成21年11月改定
中学校	4,900円	53,900円	11か月	190日	283円68銭	平成21年11月改定

1食当たり単価（保護者負担額）

区 分	主 食	牛 乳	副 食	計	備 考
小学校	48円24銭	200cc 47円28銭	136円06銭	231円58銭	平成21年11月改定
中学校	60円73銭	200cc 47円28銭	175円67銭	283円68銭	平成21年11月改定

3. 学校給食摂取基準

学校給食の食事内容については、文部科学省の「学校給食摂取基準」に基づく栄養的にバランスのとれた献立内容の充実に努めている。

現行の基準は平成25年4月に改訂され、次のように定められている。

区 分	小 学 校 児 童 の 場 合			中学校生徒の場合
	低学年(6～7歳)	中学年(8～9歳)	高学年(10～11歳)	
エネルギー (kcal)	530	640	750	820
たんぱく質 (g)	16～26	18～32	22～38	25～40
脂 肪 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25～30%			
ナトリウム(食塩相当量) (g)	2未満	2.5未満	2.5未満	3未満
カルシウム (mg)	300	350	400	450
鉄 ()	2 mg	3)	4	4
ビタミンA (μgRE)	150	170	200	300
ビタミンB1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	20	25	35
食 物 繊 維 (g)	4	5	6	6.5

※表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取量について配慮すること。

マグネシウム…児童(6～7歳)70mg・(8～9歳)80mg・(10～11歳)110mg、生徒(12～14歳)140mg

亜鉛……………児童(6～7歳)2mg・(8～9歳)2mg・(10～11歳)3mg、生徒(12～14歳)3mg

4. 食材の安全確保

安心・安全でおいしい学校給食のために、食材料の安全確保に努めている。

給食指導資料

学校給食課企画・製作による次の資料が備えられている。

- 学校給食センターの1日
- こんなにおおきくなりました！！ のこさずたべてくださいね（川越産枝豆）
- おこめにつき（川越産米）
- ぼくがだれだかわかるかな？ かわごえの畑ですくすく育っているよ（川越産とうもろこし）
- しょうゆができるまで（川越産大豆使用のしょうゆ）
- みつばの成長日記（川越産みつば）
- 川越の名産 私は何でしょう 秋にほくほく！（川越産さつま芋）

社会教育の充実

目標

学校・家庭・地域の連携を更に進め、地域ぐるみの教育を振興し、児童生徒の「生きる力」を育む教育を推進するとともに、社会教育の充実を図るため、市民の学習環境の整備や学習機会の創出を総合的に推進していく。

1. 青少年教育の充実

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
ジュニアリーダースクール	子ども会の基礎的な理論・活動展開の在り方・実技指導の方法等を継続的に学習することにより、子ども会ジュニアリーダーとして必要な知識、技能を身に付け、川越市ジュニアリーダースクラブの一員として活躍できる青少年を育成する。
子ども会育成事業	子ども会の健全な育成とその発展を図るため、校区子ども会育成団体連絡協議会に子ども会育成事業を委託する。 ・委託先：校区子ども会育成団体連絡協議会（小学校区27・中学校区1）
育成者研修会	子ども会育成者としての資質向上と単位子ども会活動の振興を図る。
棚倉町交流事業	友好都市交流事業に参加することにより、他県の環境に親しみ、視野を広め協調性・自主性を育て健全なる成長に資する。
子ども会かるた大会	子ども会員が一堂に集まり、「かわごえ郷土カルタ」を活用して「5つのめあて」をもとに競技を行う。なお団体・個人とも上位4チーム（人）は川越市代表として、彩の国21世紀郷土かるた県大会へ出場し、県内子ども会代表選手と競いあうとともに、交流を深めることを目的とする。
子ども会育成会補助金交付事業	市内の子ども会育成団体の自主性を尊重しつつ相互の連絡協調を図り、その向上発展を期するため、川越市子ども会育成団体連絡協議会が行う事業に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。 ・補助対象団体：川越市子ども会育成団体連絡協議会 ・団体数：28団体 会員数：21,403人



ジュニアリーダースクール



子ども会かるた大会

2. 家庭教育の充実

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
P T A運営講座	小・中学校P T A常置委員の研修を深めて、P T A活動の充実、推進を図り、各P T Aの行う常置委員会活動の向上発展を期して指導者の養成を図る。
家庭教育学級	P T A会員に対して、家庭教育に関する学習の機会を提供するため、各小・中学校P T Aが開催する家庭教育学級を支援する。 ・委託先：各小・中学校P T A
子ども情報誌発行事務	子どもたちの休日における体験活動を豊かにするため、「かわごえし子ども情報誌小江戸探検隊」を編集協力員（市民）の協力により発行する。
高校説明会	埼玉県内の公立高校及び県内・都内の私立高校の中から、市内中学生の進学者数上位校のうち公立24校、私立23校の47校を選び、その学校から生徒募集要項、教育方針、卒業生の進路状況等についての合同説明会を開催し、進路指導・進路選択の参考とする。
P T A研究集会	各学校・P T Aの活動の成果や諸問題について、川越市P T A連合会の活動目標・方針に基づき、自主的に研究討議しP T A活動の充実を図る。
P T A講演会 （入間地区P T A連絡協議会と合同開催）	小・中・特別支援学校P T A役員等を対象に、心豊かな子どもたちの育成に関する研修会を開催し、P T A役員としての資質を高めるとともにP T A活動の活性化を図る。
親の学習講座	多くの保護者が集まる効果的な機会を活用して「親が親として育ち、力をつけるための学習」を実施し、家庭の教育力の向上を図る。
幼・保・高家庭教育講座	子どもの年齢に応じた子育て・しつけの方法についての講話や、親同士の意見交換など、保護者に家庭での教育を見直してもらうための学習情報・学習機会を提供し、保護者と子どもが共に育ち合う環境づくりを進める。
P T A連合会補助金交付事業	川越市P T A連合会会員の意識高揚を図るとともに、青少年の健全育成を図るため、連合会が行う事業に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。 ・補助対象団体：川越市P T A連合会 ・団体数：54団体 会員数：23,084人

3. 社会教育一般事務

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
社会教育委員協議会	社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問の対応や必要な研究調査を行うため、定時又は臨時に開く会議。定例会年6回程度。
障害者対応事業研修会	社会教育に携わる市職員を対象に、障害者に対応できる事業を実施するにあたり、障害者を理解するための研修会を開催し、障害者が広く参加することのできる事業の充実を図る。
社会教育主事研修派遣	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター実施の社会教育主事講習に職員を派遣する。

4. 川越子どもサポート推進

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
子どもサポート事業	子どもたちの生きる力を育むため、学社連携・融合を基盤として、家庭、学校、社会教育施設、地域社会が一体となって、子どもたちのさまざまな活動を支援する。 ・ 子どもサポート本部会議・子どもサポート発表会 ・ 小江戸見つけ隊作品募集
学校応援団事業	地域が学校の授業や行事、環境整備等に参加することにより、学校が特色ある教育活動を展開できるようにするとともに、地域の教育力を向上させ活力ある地域づくりを推進する。
地域教育推進事業	子どもたちが生きる力を身につけ、たくましく育ちゆくための支援の在り方を協議し、各機関や団体が連携を強め、地域ぐるみの教育を推進する社会環境を整備する。 ・ (仮称) 川越市地域ぐるみ教育推進ネットワーク会議



子どもサポート事業 小江戸見つけ隊作品展



学校応援団事業

5. 人権教育推進協議会

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
人権教育推進協議会	川越市における人権教育の振興を図り、よりよい地域社会づくりに寄与するため川越市人権教育推進協議会を設置する。
人権教育実践報告会	同和問題をはじめとするさまざまな人権問題について正しく理解するとともに、人権を尊重する教育の積極的な推進を図る。実践報告に基づいて意見交換をすることにより、人権教育の一層の充実に資する。

6. 小堤集会所運営管理

①小堤集会所施設の状況

建 築 年 度	敷 地 面 積	延 床 面 積	所 在 地	電 話 番 号
平成8年度	348.47㎡	290.66㎡	川越市小堤784	231-0534

②事業の概要

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
運営委員会	集会所における各種の事業の企画・実施について協議する。
施設管理	集会所建物の修繕や清掃業務等の管理を行う。

7. 人権教育の充実

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
P T A ・ 子 ども 会 育 成 会 人 権 啓 発 フィルム 研 修 会	同和問題をはじめとするさまざまな人権問題について正しく理解するとともに、人権を尊重する教育の重要性について認識を深める。各 P T A 及び子ども会育成会における人権教育の推進に資する。
啓発資料作成委員会	人権教育啓発資料の充実を図り、資料活用による人権教育啓発活動の推進に寄与する。
公民館人権教育指導者養成講座事業	人権についての正しい理解を深め、日常生活の中で人権を尊重した生き方ができるように、また、各種団体及び各家庭に一人ずつの人権問題解決のための指導者を育成する。 【平成24年度実績】 87講座 4,000人
小堤集会所ふれあいまつり	集会所事業における各教室・講座で得られた学習成果を互いに発表し合い、広く大勢の人に集会所事業への関心を持っていただくとともに、相集い、相和して楽しいひとときを持ち、触れ合いの輪を広げていく。
小堤集会所事業	①集会所周辺住民の自主的組織的教育活動を助長し、教育・文化水準の向上を図る。 ②集会所の利用を通して、集会所周辺住民の人権問題に対する正しい理解と人権意識の高揚を図る。 ③地域住民相互の交流を通して、よりよい人間関係を醸成する。 【平成24年度実績】 ・指導者養成講座 5回 ・女性講座 5回 ・成人学習講座 5回 ・カラオケ教室 22回 ・フレンドスクール 8回 ・習字教室 24回 ・高齢者学級 5回 ・普通救命講習 1回
人権教育推進事業委嘱	公民館・学校・当該 P T A を一単位として公民館区全体で人権教育に取り組むように、毎年公民館 3 ～ 4 館と学校11校を指定し、市内全域に順次委嘱する。 【平成24年度】 (小学校) 高階南・高階西・寺尾・川越西・大東東・大東西 (中学校) 高階西・寺尾・川越西・大東・大東西 (公民館) 高階南・川鶴・大東・大東南
人権作文・標語・絵画公募事業	作文・標語や絵画制作への取組を通して、児童生徒の人権への関心を高め、自らの生き方を考えさせる。
人権文集「あけぼの」作成事業	子どもたちから寄せられた人権作品を、広く紹介し、より多くの人の人権意識の高揚を図る。
人権カレンダー作成事業	しおり形式のカレンダーに児童生徒の人権標語と絵画を掲載し、市内各家庭への配布を通して、市民の人権意識の高揚を図る。
「いのち・こころを大切に する絵画展」開催	子どもたちから寄せられた人権絵画を広く紹介し、より多くの人の人権意識の高揚を図る。
人権教育実践報告会開催	幼・保・小・中・高・特の学校・P T A ・公民館等の日頃の人権教育の実践報告に基づき意見交換を行い、人権教育の一層の充実に資する。 ・実践報告発表及び研究協議 ・小中学生人権作文発表

8. 公民館建設の推進

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進	(仮称)霞ヶ関西公民館については、施設機能等について検討するため、関係団体と協議する。
(仮称)西公民館建設推進	(仮称)西公民館については、建設予定地等について検討するため、関係団体と協議する。
霞ヶ関北公民館整備推進	霞ヶ関北公民館の移転改築となる公民館については、施設機能等について検討するため、関係団体と協議する。

9. コミュニティセンター運営管理

①福原コミュニティセンター

建築年度	敷地面積	延床面積	所 在 地	電話番号	平成24年度利用状況	
昭和54年度	2,975.18㎡	169.57㎡	川越市今福481-3（福原公民館内）	242-5005	407件	4,093人
施 設 の 概 要			ボランティアビューロー、談話室、集会室、器材室			

②事業の概要

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
運営審議会	庶務は福原公民館、予算管理は地域教育支援課



小堤集会所ふれあいまつり



人権啓発資料（人権文集・カレンダー・広報紙）